

## 第14回(2023年度)助成研究成果表彰 受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度は17名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、6月2日開催の第55回通常理事会において、3名の方の受賞が決定いたしました。

なお、表彰式・受賞記念講演会は、別途開催する予定です。

### 1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	胡桃澤 清文	所属	北海道大学大学院工学研究院・准教授
助成研究期間	3年間：2019年11月～2022年10月		
研究テーマ	高炉スラグ固化体作製のための高炉スラグの反応促進技術の開発		
研究成果	氏は、高炉スラグ微粉末の初期反応性を高め、セメントを全く使用しないコンクリート代替固化体の製造を目指す研究を行い、無機塩種の混和剤の有効性を明らかにした。この研究成果は、高炉スラグの利用拡大に寄与する社会的意義の大きい研究成果である。		

### 2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	玄 大雄	所属	東北大学多元物質科学研究所・助教
助成研究期間	2年間：2020年11月～2022年10月		
研究テーマ	単一粒子分光分析による大気中の不均一光化学反応過程の動態解明		
研究成果	氏は、大気中のガスとエアロゾル粒子表面における定量的な理解が進んでいない不均一光化学反応過程について、先進的な手法を用いて基礎研究成果を得ている。この研究成果は、今後の大気化学モデルの精度向上に貢献する発展性の高い重要な研究成果である。		

### 3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	今中 信人	所属	大阪大学大学院工学研究科・教授
助成研究期間	3年間：2019年11月～2022年10月		
研究テーマ	鉄鋼排水中の有害有機物質を高効率で浄化可能な新規環境触媒		
研究成果	氏は、コークス炉排水中のフェノールを、常圧、100℃以下の温和な条件で分解することができる新たな触媒を開発した。この研究成果は、将来の実用的な廃水処理に結びつく可能性のある、学術的にも意義の大きい研究成果である。		

以上